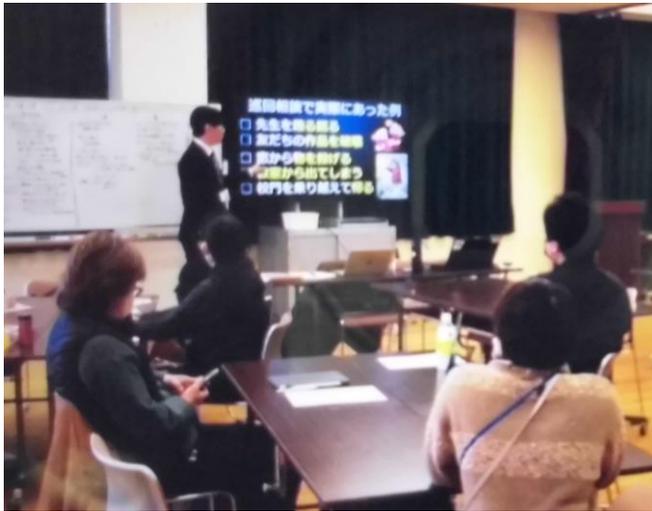


実施日：2024年2月19日

12月研究テーマ：事例検討を行い、行動分析を用いたアセスメントを研究員内で行い、実践する。



2月研究会の達成目標：愛着障害によるであろう児童への対応、事例検討を行い、行動分析を用いたアセスメントを研究員内で行い、実践できそうな内容を見立てることができるようになる。

活動内容

愛着障害によるであろう児童への対応、事例検討などを行う。事例検討をもとにどのような対応が望ましいのかを考え、各班に分かれ発表などを行った。ADHD 傾向ではないかなどさまざまあったが、そもそもの愛着障害の傾向として、ADHD や ASD の特徴に似た傾向が見られると、後の講義で教わることになる。以下講義の内容である。

～褒めてもダメ、叱ったらパニック 愛着形成が不安定な子ども
の理解と対応～

愛着行動の理解 愛着とは特定の大人との情緒的なつながりのことであり、反応性愛着症と脱抑制的対人交流症の大きく二分類ある。前者は ASD に後者は ADHD に行動が見える。愛着の対象が決まっていないので見て見て行動をおこす。また、危険な行動をおこしたりもする。愛着の形成はだれとでも結ぶことは可能であるが同時に結べないという事が注意。まずは、キーパーソンを中心とした関わりが必要である。子どもには、力で抑えつけることや、罰でコントロール指導するのではなく、あきらめない粘り強い指導、関わりが必要になってくる。一人ひとりの子どもたちに寄り添う支援方法を考えることが肝要である。

今後の活動 講演内容予定

次回：

3/5 (水) 15:00～ 豊中市教育センター
各部会からの研究内容報告